

本年度の実践努力事項



(1) 児童の自尊感情・自己肯定感の向上 「子どもを主語にした学校」へ

- ◆人権教育の研究推進（「食肉産業」学習、地域教材の開発、人権交流推進事業等）
- ◆「越部っ子憲章」を基盤に据えた道徳教育の推進（「いのち」の授業・「越部っ子憲章」の実践）
- ◆一人一人の発達や障がいの状態に応じた特別支援教育の充実
- ◆安全・健康教育の充実と教育環境の整備、美化活動の推進、だまって掃除の徹底
- ◆「兵庫の防災教育」の充実

(2) 児童の確かな学力の育成

- ◆「わかる、できる喜び」基礎・基本の徹底（朝のチャレンジタイム、家庭における学習習慣の確立等）
- ◆「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善（言語活動〔「ことばの力」向上〕や探究的活動を中核にした指導方法の改善、つまずきの解消・系統性を重視した指導、個別最適な学びと協働的な学びの充実、兵庫型学習システム等による授業の充実、ICTの効果的な活用等）
- ◆読書習慣の定着と活動の充実（朝の読書、親子読書、市立図書館との連携等）
- ◆情報活用能力及び情報モラルに関する指導の充実（プログラミング的思考の育成）

(3) 地域資源（ふるさと）を生かす活動でふるさと意識の醸成

- ◆ふるさと意識を醸成する教育の充実（地域学習、城山ハイキング、越部探検隊、れんげ祭り等）
- ◆地域との連携（越部百人一首の里かるた大会の開催、百人一首教室）
- ◆地域を核にした環境教育や生活・総合的な学習の時間の充実

(4) 未来指向型人材の育成

- ◆英語によるコミュニケーション能力の育成と国際理解教育の推進（国際的視野の涵養）
- ◆キャリア教育推進体制の整備（体験活動の活用とレジリエンスの醸成）
- ◆夢や希望、目標を持ち、それに向かって努力する態度の育成（「非認知能力」の育成を意識した指導）

(5) 家庭や地域と連携し、子どもの安全を守る取組や運動や食育・健康教育を通じた「健やかな体」の育成を推進する。

- ◆体育・スポーツの習慣化（楽しく体を動かす時間の確保、主体的に体力向上を図る態度の育成）
- ◆食育の組織的・計画的・継続的推進
- ◆地域・関係機関と連携した安心・安全への取組
- ◆「学校の新しい生活様式」に基づく新型コロナウイルス感染症等をはじめとする感染症予防対策の共通理解

(6) 特別な教育的支援を必要とする児童への一貫した支援・協力体制を構築する。

- ◆特別支援教育推進委員会の充実
- ◆特別支援学校や関係機関との連携
- ◆特別支援教育支援員の効果的な活用
- ◆教職員の専門性を向上させる職員研修の充実

(7) 子どもたちの学びを支える環境の充実

- ◆児童の内面理解に努め、一人一人が大切にされる学級経営の推進。
- ◆「いじめ」のない、だれひとりも取り残さない学級づくり
（いじめの積極的認知・早期発見・早期対応における組織的対応の徹底）
- ◆子どもの安全を守る体制の充実（生活・災害・交通に対応した危機管理能力の向上、食物アレルギー対応）
- ◆教職員の資質と実践的指導力の向上（研修のあり方改革、教員・管理職資質向上指標を踏まえた研修参加）
- ◆チーム越部 教職員の協働体制による課題への組織的・効果的な対応
- ◆学校情報セキュリティポリシー等に則った情報管理の徹底
- ◆働きがいのある学校づくりの推進（働き方改革、業務改善、ワークライフバランス、ウェル・ビーイング）